

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	東彼杵町国際交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	教育委員会	遠岳 祐二	0957-46-0114
事業期間	開始年	平成30年8月23日 (3年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 平成30年8月23日 (完了日) 平成30年8月27日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	日中悠友旅行 株式会社		山田 益広	095-811-0108
	(委託内容) 視察団の移動等、全行程にかかる旅行手配			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町内の小・中学生		海外派遣による異文化体験を通して国際的視野を広め国際感覚を身に付けた人材育成を行い、これからの国際協調を基にしたまちづくりを図る。そのために時代を担う児童・生徒の国際理解教育の拡充を目指す。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	シンガポール視察(2018.8.23~8.27 3泊5日) 小・中学生13名、引率4名 計17名 8/24 現地小学校との交流・授業見学、日本国大使館表敬訪問 8/25 マレーシア入国、シンガポール市内見学等 8/26 セントーサ島カペラホテル見学等 現地小学校を訪問し、実際の授業に参加し交流を行った。様々な人種を受け入れる多民族国家であるシンガポールの文化に触れ、日本との違いを学び、異文化の理解を深めるきっかけとなった。また、授業だけでは学べない外国語学習の重要性を認識できた。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	東彼杵町は昔から転入者の少ない地域で、町外、県外、海外に対して積極的にアプローチするような町民性は少ない。しかし町では、これからの交流人口の拡大と町をPRするためのツーリズムの普及を目指しているため地域に国際感覚を身に付けた人材育成が課題となっている。			
(経緯・現状)				
国際的視野を身に付けた人材育成のきっかけとして、東彼杵町とつながりのあるオランダへ2年間の派遣を行った。3年目からは、日本から近く経費が抑えられ、より多くの小・中学生を派遣できる英語圏の国を模索し、派遣先を米朝首脳会談等でも話題となったシンガポールに決定しました。特にシンガポールでは、現地小・中学生の交流受け入れが容易で、世界の同世代との交流という貴重体験を計画することができました。また、多民族国家であり様々な人種、文化や建造物が混在し、「異文化の違いを知り、受け入れること」を学べるよい機会だと考えました。この事業を通して、子供たちの学習への意欲向上につながることを期待している。また、現在のALTの配置は、各学校に1名体制(小学校2校・中学校2校)となっている。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）				3,829,854 円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			925,000 円				
	一般財源			2,904,854 円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	外国語実践学習	地元小学生との交流の中で英会話を実践する	件	目標	—	1	1
					実績	—	1	1
				目標達成率 (%)		—	100	100
	②	異文化交流	学校での交流、町中での交流や建造物を見学で異文化に触れる	件	目標	—	1	1
					実績	—	1	1
				目標達成率 (%)		—	100	100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 町内初めての国際交流事業であり、町内小・中学生にとって将来、自分も参加できるチャンスがあるからこそ、学習意欲が高まっていく。 その大きな目標となりうる事業であり、町内小・中学生全体に影響を与えることのできるものである。 廃止・休止した場合、初回参加者のみに事業効果は限定され、大きな広がりを期待できない。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		同世代の現地小・中学生との交流ができ、子どもたちにとって貴重体験となった。また、多民族国家であり様々な人種、文化や建造物が混在するシンガポールに触れ、「異文化の違いを知り、受け入れること」を学べるよい機会を提供できた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 事前学習を更に深めたり、県内留学生との交流などで準備を十分に行いたい		
実施予定 期 日	H30 年度			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		企画のみ行政でうけもち、その実行部分は殆ど民間委託している。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		小・中学生を対象にしているため、一部負担の割合を多くは求められない。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	次期事業実施における町内小・中学生の反応を確認しながら事業の有効性を高めていく。 事業実施における民間委託化は既に行っており、この手法は継続する予定である。				